

H25 マヒドン大学短期語学留学

評価・報告

参加者15名、回答数15名

5:とても良かった 4:良かった 3:どちらともいえない 2:良くなかった 1:全く良くなかった

■ 短期留学全体の総括

評価	5	4	3	2	1
回答数	15				

<感想>

- 本当にこのプログラムに参加してよかったと思います。2週間あっという間にすぎて行きました。タイについて学べることはもちろん、学生との交流が密にあり、普通の旅行では味わうことのできない体験をすることができました。タイで出会ったタイ人の学生、そして一緒に行った日本人学生とも、今後連絡をとり続けたいと強く思います。
- 現地の学生と交流しながら、タイの文化や現状を直に知ることができてよかった。大学側のサポートもとても厚く、二週間安心して過ごすことができました。

学校以外の時間も、タイの観光地やショッピングなど様々な場所を訪れ、充実した日々を送れた。私たちの行きたい場所に同行してくれ、案内してくれたマヒドンの学生には本当に感謝している。
- 二週間という比較的短い期間でタイの言語や文化、さらにはマヒドンの学生とも友情を築くことができ大変満足しています。日々の予定が大まかに決まっていたため無駄な時間を過ごすこともなく、様々な観光名所を見学し多くのタイ人と交流することができたと思います。マヒドンの先生方がおっしゃっていましたが、私にとって本当に **life changing** なイベントになりました。またタイに行きたいと強く思いました。
- 非常に良く考えられており、短期間で効率的且つ低予算でタイ語を習得できる非常に良いプログラムだったと思います。特に、受入側のマヒドン大学の職員と学生は自分の時間を犠牲にして、あらゆることに対応してくれて、本当に有難いと思いました。
- 毎日朝から夜まで楽しいことがぎっしりと詰まっていて、本当に充実した二週間になりました。変なおばさんから鳩の餌を押し付けられお金を請求されたり、携帯を落としたり、寮の部屋まで蟻の行列が出来ていたりしましたが、その一瞬一瞬が今になって愛しく思えます。日を重ねるごとにタイのことが好きになっていきました。こんなすばらしい日々を送ることができたのは、タイ人のチューターと先生方のおかげです。夢のような、一生の思い出です。
- 2週間全体を通して、本当にいいプログラムだった。マヒドン大学の学生がずっと付き添ってくれたため、何不自由なく過ごせたとし、その分、深くかかわりを持つことができた。様々な場所に行ったり、文化体験をしたりすることで、非常に濃い2週間を過ごすことができたと思う。
- さまざまなタイの文化を体験できたり、マヒドンの学生さんたちと親密に交流できた

りとすばらしい経験を提供してくれるプログラムだと思う。

- ・ 毎日毎日いろいろな予定がくまれている、とても充実した二週間をおくることができました。たった2週間だけだったけれど、タイの文化に触れることができタイの良いところをたくさん知ることができました。タイのエメラルド寺院、ワットアルン、ワットポーなどにも行くことができました。週末には **Freetime** もあるので、遠出をすることもできます。私たちはアユタヤにいて、水上マーケットでショッピングをしたり象にのったりして過ごしました。
- ・ 想像していた以上に良い経験をたくさんすることができて良かった。マヒドン大学の友達やスタッフの方々はとても親切で、毎日を充実して過ごすことができた。ただ後半の一週間はプレゼンテーションの準備等で忙しく睡眠不足になり、授業中かなり疲れている人もいた。
- ・ マヒドンの学生たちと交流ができてとてもよかった。

実際にタイに行くことで現地の空気にふれ、文化や考え方、言語などいろいろなものを教わる良い機会だった。充実した毎日をおくれるプログラムだった。

・ このプログラムは、本当に密度の濃いものだったと思う。お世話をして下さった先生はもちろんだが、毎日親身に私たちに接してくれたタイの学生がいなければ、ここまで充実した二週間は過ごせなかった。このプログラムを通して、タイの文化と言語を学ぶことで、自身のなかの日本観が変化したと感じた。

来年の四月には、タイの学生に「プログラムに参加してよかった」と思ってもらえるように精一杯サポートしたいと思う。

・ 毎日タイの文化や歴史に触れることができるプログラム構成が非常によかった。タイ語の授業に関しても、日常会話を中心に実践的な授業であったと感じられた。特に、2週間毎日つきっきりで私たちの日常生活のお世話をしてもらったタイの学生の方々には大変感謝している。

・ このプログラムに参加できて本当に良かった。タイという国の魅力を知れたこともそうだが、何より、かけがえのない仲間がたくさんできた。熱心に日本語を勉強しているマヒドンの学生、このプログラムに参加してきた意識の高い九大生、出会った人たちみんなが私にとって魅力的だった。そして、今後もコンタクトをとり続けられる関係になれたのがとても嬉しい。

・ このプログラムに参加するまではタイのことを全く知らなかったもので、とても貴重な経験ができました。初めてのタイだったので初めは不安もありましたが、現地の大学生がとても良くしてくれたので、心配することは何もありませんでした。

・ このプログラムでは、まずタイ人の学生がたに強く感謝することが一番思うことである。とても親切に、面倒をみてくれた。英語がそんなにできないのにどんどん会話してくれるし、日本語で一生懸命伝えようとしてくれたり、わがままをきいてくれたりしてくれた。また、タイ人の学生との交流は、自分にとってとてもいい刺激になった。自分の将来について真剣に考えていたし、勉強に対する姿勢にも見習わなければならないところがたくさんあった。このプログラムの全体はとてもよいものだった。遊ぶことも、タイの文化、言語を学ぶことも、タイの友達ができることも、他にもいろいろと全てできるのがこのプログラムであると思う。

■ タイ語の授業全体

評価	5	4	3	2	1
回答数	6	7	2		

<感想>

- ・ 現地でのタイ語の授業もウライポーン先生がよかったです。せっかくタイ人の学生が授業時間、教室にいてくれるのに、先生対私たちの授業でした。タイでしかできない授業（タイ人学生と会話練習など）をしていただけたら、よかったかなと思います。
- ・ 授業自体はとても丁寧ではあったが、教科書をなぞるだけの、日本にいてもできるような内容だったため、少しがっかりした。せっかく現地で受ける授業で、タイ人の学生も一緒にいることが多かったのも、もっと実践的な内容ができるとうよかったと思う。
- ・ 計八回のタイ語の授業が行われ、日常会話でよく使われるタイ語の表現などをベテランの先生に効率よく教えていただきました。何度も発音してみることで次第に表現は頭の中に入ってきました。ただ、せっかくタイでの貴重な時間でタイ語の勉強をしているので、先生と生徒だけの授業ではなく、時間のあるマヒドンの学生に手伝ってもらいながら勉強するような形にしてもらえるとうさらに充実したものになったかもしれないと思います。
- ・ タイで授業をして下さった先生は非常に経験豊かで、日本人に対する教え方が上手だったと思います。授業の構成も特に問題無かったと思います。語学習得なので基本的には個人の努力次第だと思いますが、時間に余裕があるタイ学生がいれば、何回か授業に参加して貰って会話パートナーになって貰ったりしても良いのかなと思いました。
- ・ 現地の授業に関しては、せっかくタイにいるのに座学でタイ語を学ぶのはもったいない気がしました。タイ語は発音の種類が多く、アクセントの付け方も難しかったです。覚えて実際に使ってみても、通じないことが多く悲しかったです。
- ・ 授業内容は、日常会話にそくしたものが多く良いものだったと思う。実際に、現地の学生との交流や買い物の際など、活用することができた。授業のペースやテストの難易度もこちらに合わせてくれていた。
- ・ わかりやすく、内容も実用的で、無理のない進度なのでたのしみながら学習できた。
- ・ 日常で使うことができるタイ語を教えてくれるので、授業に対してやる気をもってのぞむことができます。集中講義で事前にタイに行く前に、授業があるのである程度の準備をすることができます。小テストやプレゼンが何回もあるので、少し大変だけれどためになります。タイでよく目にする食べ物、果物、飲み物をタイ語でなんというか何回も教えてくれるので、とても興味深かったです。ただ毎日タイ人の友達が遊びに連れて行ってくれるので、夜遅くなると次の日の授業眠くなってしまうことがあります。
- ・ タイ語は日本語と全く違うので習得するのが難しかったが、先生は時間をかけて丁寧に教えてくれた。日常で使える単語や簡単なフレーズを学べたことが一番良かった。小テストの量、回数もちょうど良かった。

- ・ どちらの先生も優しくわかりやすくおしえてくれたのでよかった。簡単な単語なら実際に使うことができたが、私にとっては発音や声調のちがいがどうしてもわからないときがあった。
- ・ 多くの文法事項を短期間に学んだので、なかなか覚えるのが大変だった。しかし、自分で短文を作るという作業を多くする授業形式だったので、単語をたくさん覚えられたし、買い物とかで使うことができてよかった。
- ・ 日本語を使った授業で学びやすく、助かった。実際に注文のときや場所を訪ねる表現など日常生活で利用することができた。2週間の中でタイ語を利用して会話をするためにはより実践的な文章を暗記することが助けになったと思う。声調が非常に日本人にとって困難なので文章全体を覚えたほうが実践に利用しやすかった。
- ・ 日本での授業は初めてのことばかりで楽しかった。しかしタイでの授業は、毎日のハードスケジュールのせいか、いつも眠たくて起きておくのに必死だった。授業内容自体はそんなに難しくなかったので、授業には十分ついていけた。
- ・ タイ語は初めて勉強したので、難しい部分もありましたが、全体的には楽しかったです。慣れてくると、勉強が楽しくなりました。また、テストもなるべく負担が少ないように配慮していただいたので、とても助かりました。
- ・ 授業は、タイの先生がとても親切で、丁寧にタイ語のことを教えてくださったのでとてもわかりやすかった。しかし、学生側は日頃の疲れもあってかその先生の態度に対する態度がよくなかったのは反省すべきことだと思う。学んだことは、タイでの生活で実際に使える表現などが多くて使う場面も多くありとても身に付きやすかった。

■Field Visit 全体

評価	5	4	3	2	1
回答数	10	5			

<感想>

- ・ 毎回毎回の宿題は正直つらかったです。しかし宿題を通してタイの学生とコミュニケーションをはかることができたので、宿題の存在もよかったと感じています。
- ・ 私は建築学科で、以前からアジア建築には興味があったため、ワットプラケオなどの歴史ある寺院を訪問できたことが特によかったと思っている。
- ・ バンコク周辺の観光名所を沢山まわることができて大変満足しています。また王宮や博物館でガイドをつけてくれたことの意味は大きく、タイ人の信仰や考え方について多くのことを学びました。タイについてより一層興味をもちました。
- ・ 抑えておくべき観光スポットの殆どを、マヒドン大学のバスでご案内頂いた。各寺院では公式ガイドにご案内頂き、通常の観光では入れない場所までご案内頂くなど、さすがタイの名門校だなと思いました。特に、ワット・アルンでは僧侶の方にご案内頂いたのが印象的でした。良くなかった点は特に思い当たりません。
- ・ 訪れた場所はどこも心に残るところばかりでした。特に一日で王宮とワットアルン、ワットポーを回れたのはガイドをしてくれた人たちに感謝したいです。最高でした。

改善点を挙げるとするならば、安全面を気にしてなのか、露店で買い物することがで

きず残念でした。美しいタイだけではなく、スラム街や一般家庭がどのような生活をしているのかを知りたかったです。

- ・ 行った場所にはそれぞれガイドがついていて、英語で聞き取れなかった部分も多少あるものの、様々なことを見て聞いて、知ることができた。寺院も行ってよかったと思える場所の一つであるが、ドレスコードが厳しく、それを正すのに、時間がかかっていた。
- ・ 有名な寺院を見学した際にきちんとしたガイドさんをつけてくれたのがすごくよかった。ただ見るだけじゃなく、仏教の知識なども身に着いた。
- ・ エメラルド寺院、ワットポー、ワットアルンのこの三つはとても印象に残っています。よくなかった場所はありませんが、National Musiam の回る時間があまりなかったことで、全部見ることができなかつたことが残念でした。
- ・ 王宮、寺院は特に良かったと思うが、博物館やジム・トンプソンハウスも行くべき価値があるところだと思う。ただ、バンコク国立博物館で時間が足りなくて見ることができなかつた所があつたのは残念だった。
- ・ 宮殿や寺院、ミュージアムはとてもよかった。服装に厳しく、愛国心や信仰心がじかに感じられた。テスコロータスは滞在時間が短く、なにを買えばいいのかわからないときに行ったのであまりよくなかつた。
- ・ もともと寺院や仏像、伝統工芸品などに興味があつたので、多くのタイを代表する建物に行けたことは非常によかった。タイに行く前に写真で見っていたものよりも遥かにすごいものばかりだった。
- ・ サイアム美術館は、体験型の展示物やタイ人の起源から未来までを学ぶことができ非常に興味深かつた。バンコク国立博物館は展示物をすべて見る時間がなかつたため非常に残念であつた。
- ・ 寺院巡りはタイを訪れる観光客のほとんどがするだけあり、非常に良かった。博物館も興味深かつた。ジムトンプソンハウスは割と新しい歴史で、アメリカ人宅ということもあり、私が期待していたタイらしさはあまり感じられなかつたように思う。全体を通して、ガイドができれば日本語だったら・・・と思つた。もちろん私の英語力が足りないだけなのだが、英語の説明を一生懸命聞こうとすると文章読解に時間がかかつて見学が疎かになり、逆に見物に集中すると英語のガイドが耳に入ってこなかつた。日本語であればその当時進行が可能になり、より内容の濃いものになつたと思う。
- ・ 全体的に時間がなかつたのが、残念でした。Field Visit では Temple tour がとても良かったです。日本のお寺とは全く違ってとても刺激的でした。また博物館にも行き、タイの文化や歴史も学ぶことができました。
- ・ Field Visit はどこもよかった。どこの場所でもガイド（日本語、英語）をつけていただき、見るだけではなくその場所の説明も受けることができた。そのためとてもよく文化についてわかることができた。日本での集中講義でタイの文化や寺院について学んでいたのので、より理解の内容が深まつた。

■ Field Visit 以外の課外活動（料理、ダンスなど）

評価	5	4	3	2	1
回答数	14	1			

<感想>

- ・ タイ料理の授業はとてもよかったです。タイ料理は普通でもおいしいのに、自分たちが作ったとなると、より一層おいしく感じました。
- ・ ダンスを見るだけ、料理を食べるだけでなく、実際に自分で体験することで自分の中で大きく印象付けることができた。ただ見るだけ、食べるだけよりも何倍も楽しかったし、文化に対する理解がより深まったと思う。
- ・ マヒドンの学生と交流しながらタイの文化について学ぶことができ、良かったです。授業の合間を縫って多くの学生が来てくれてとてもありがたかったです。料理の授業では、普段ホテルの厨房に入る機会など滅多にないので、日本の学生もタイの学生も共に楽しむことができました。
- ・ タイダンスは将来タイに駐在することがあれば、きっと役に立つと思いました。料理教室は大学内のホテルの厨房で大勢のシェフが指導してくれるという本格的な内容でとても楽しく貴重な経験をさせて頂きました。
- ・ どれもよく段取りされていて楽しかったです。このプログラムに参加しないとできないことばかりだったので、貴重な経験になりました。一人ひとりではなく、みんなでひとつのことをやるということにも意義を感じました。
- ・ **Cooking Class** では実際に厨房に入って、プロの指導のもとタイ料理の調理を体験した。調理中は自由に動くことができ、多くの種類の調理を体験できたのもいい点だった。調理した後には、みんなでその料理をおいしくいただくことができた。
- ・ ホテルの厨房に入らせてもらえて、たくさんの種類のタイ料理づくりを体験できてすごく感銘を受けた。シェフも気さくなひとたちでやさしく教えて下さった。
- ・ タイの料理やダンスを実際に体験してみることで、タイの文化について理解をさらに深めることができました。**Certificate ceremony** ではタイダンスを披露するために練習して、みんなで息を合わせておどることができ楽しかったです。
- ・ 料理、ダンスともにタイの伝統や文化を知る上で非常に役に立つ経験だった。初めての経験だったので分からないことや上手くできないことが多々あったが、マヒドン大学の友達や先生方が優しく丁寧に教えてくれて楽しむことができた。
- ・ 料理もダンスも楽しかった。タイ料理をどんなふうに乗っているのか、何が入っているのかなど知ることができた。ダンスは簡単な衣装を着られたし、日本で習う機会はないのでとてもよかった。
- ・ タイの文化について学ぶことができ、本当に良かった。普通にタイに旅行に行ったら、「見る、食べる」の体験しかできないが、このプログラムでは実際に「する・作る」こともできるという点で素晴らしいと感じた。
- ・ タイダンスは衣装も着せてもらい非常によい体験となった。タイ料理に関してもホテルの厨房で日本でも経験のできない料理体験をできたことは非常にうれしかった。多くの料理の調理法を知ることができたので、実際に作ってみたいと感じた。
- ・ これは体験型でタイの文化が学べたので楽しかった。タイの学生が直接レクチャーしてくれたので、彼らとの交流の場にもなり、生身のタイ文化を学んでいるという感じがしてとても良い時間だった。
- ・ タイダンスの授業は丁寧に教えていただいたので、初めは難しかったけどすぐに踊れるようになりました。踊れるようになると楽しかったです。料理の授業は想像以

上に本格的だったので、びっくりしました。いろいろな料理をつくることができ良かったです。

- ・ 料理やダンスは、Field Visit とは違う面からタイのことをよく知れるものでした。料理はマヒドン大学にあるホテルの厨房を使え、そこで実際に働いている人が教えてくれタイ料理を作ることができた。ダンスはこのプログラムの最後に、副学長のお方に披露する機会もあり踊り方も覚えることができた。日本は日本独特の踊りはあるが多くの人は踊れないだろうが、タイ踊りは、タイの学生のほとんどが踊ることができるのには驚いた。ここでも、タイの学生との交流ができた。

■ プログラム外でのタイでの生活、寮での生活

評価	5	4	3	2	1
回答数	11	4			

<感想>

- ・ バンディット・ホームはとても素晴らしかったです。プールやジム、コンビニなどとても過ごしやすかったです。私の部屋は大丈夫だったのですが、友人の部屋では蟻が大量発生しており、対処に奮闘していました。
- ・ 休日でもマヒドンの学生も一緒に過ごしてくれたため、有名な観光地から激安ショッピングまでいろんな場所に行くことができ、とても充実していた。寮での生活も特に問題はなかった。共同生活を通して、ルームメイトはじめ日本人同士の中が深まった。
- ・ 常にマヒドンの学生がサポートしてくれたために不安もなく快適に過ごすことができました。ただ十五人の意思が一致せずうまく団体行動が取れないこともあり、マヒドンのみなさんに迷惑をかけてしまうこともありました。

週末はアユタヤを訪問し、サイアムでショッピングをし、またショーを見たりすることができとても充実していました。
- ・ 今回はキャンパス内の寮が利用不可ということで外の宿舎を利用させて頂きましたが、プールやジムまで完備されており、非常に恵まれた環境で何一つ不自由なく滞在することが出来ました。食堂、コンビニ、スーパー等、大学内外に沢山あり、勉強と課外活動に集中できる非常に素晴らしい環境でした。
- ・ フリーデイも含め、タイ人のチューターがいろいろなところに連れて行って来て一度も退屈することがありませんでした。特に夜はバンコクまで車を走らせてくれたり、寮と一緒にプレゼンをやってもらったり感謝が尽きません。普通乗用車タクシーに8人で乗ったのは、今思うといい思い出です。
- ・ 時々スコールが起こる、Wi-Fi がつながりにくい、蚊が非常に多い、という点を除けばとても快適だった。暑さも夏の福岡と大して変わらないくらいだった。寮は非常にきれいで、オートロックもついていたため、安心して過ごすことができた。コインランドリーやコンビニ、プールもついていた。
- ・ マヒドンのチューターさんが本当によくしてくれて、朝から晩まで付きっきりで面倒見てくれたりいろんなところに連れて行ってくれたり、彼らの助けがなければこんなにも楽しいタイ生活を送ることは出来なかったと感じている。タイの食べ物は本当

においしい。

- 寮にはプールがついていて夜入ることができ、快適でした。一階にはコンビニもあったので、足りないものがでるとそこに買いにいっていました。ビリヤードやお化け屋敷、パンケーキなどさまざまなところに授業が終わったあとタイ人が連れて行ってくれとても楽しかったです。部屋は2人1部屋で、ベッドも大きく過ごしやすかったです。
- 寮は広くて清潔感があり、とても快適な生活を送ることができた。時々ベッドメイキングもあり、本当に十分すぎるほどの待遇だった。また、タイ料理は辛くて食べられないものが多いと聞いていたので心配していたが、日本人好みの味もあり低価格で、日々の生活で不満に感じることは特になかった。
- 寮の部屋はとてもきれいで快適だった。タイ料理は辛いものばかりだと思っていたがそうでもなくおいしい料理が食べられた。
- 寮での生活は充実していて、期間中何度もプールで泳いで楽しむことができたが、部屋入口にアリの巣があったせいで、毎日部屋に入ってくるアリの駆除に苦戦したのが大変だった。土日にタイの学生がアユタヤやバンコク市内に連れて行ってくれたことで、よりタイについて知ることができたと思う。
- BUNDIT HOMEでの生活は非常に快適であった。学校への通学もバンによる送迎があり、何不自由なく生活することができたと思う。休日などの自由時間もタイの学生の方々が常に気をかけてくださって非常に有意義に過ごすことができた。
- 寮は本当に綺麗で、光るプールもあったので時間があるときはバカンス気分を味わえた。しかし、部屋の入り口の柱に蟻の巣があり、甘い物が無くても常に部屋を徘徊したり行列を作ったりしていたので、毎日撃退するのに大変だった。放課後や休日も色々な活動ができたが、学生チューターの数が少ない時はみんな揃っての行動になるので、動きにくく、活動の選択肢もあまり無かったのが残念だった。
- 寮は広くて快適でした。ただ、ありが発生した時期があり、そのときは大変でした。
- Free Dayには、日本の学生のわがままをタイの学生のかたたちが聞いてくれて、様々な手配をしてくれ、アユタヤまでつれていってくれた。アユタヤは是非行ったほうがいいような場所であった。あとは、バンコクの中心にも行ったが、日本とは違う発展していることがよくわかり、タイのイメージが大きく変わった。寮は、基本的にアメニティがなかったので、持っていく必要があった。事前に調べておく必要があったと思うが、タイではまずデパートに連れて行ってくれて、なんでも買うことができたので困ることはなかった。初めに、水道から水がでないということが困ったぐらいだった。それもすぐ直ったのでほんとに困ることはなかった。

■ 語学研修の実施時期・期間

評価	5	4	3	2	1
回答数	13	2			

<感想>

- 2週間という長くも短くもない期間はとてもよかったですと思います。

- ・ もっとタイにいたいと思ったが、行きたい場所には一通り行けたので、期間はちょうどよかったのではと思う。時期もお盆の帰省後から集中講義、そして現地研修という流れで行きやすく、よかったと思う。
- ・ 夏休みの中盤だと後期以降の学業面にも影響がなく、我々にとっては適切な時期だったと思います。ただこの時期はマヒドン大学では通常通り授業が行われていたため数度しか会うことのできなかつた学生もいて、残念でもありました。またサポートしてくれるマヒドンの学生の負担から考えても、プログラムの長さは二週間が適切だったと思います。
- ・ 時間に余裕がある学部生であればもう少し滞在したいと思うかも知れませんが、今回の研修を通して基本的なところを抑えれば、後は自分で勉強できると思うので、これ位の期間で丁度良いかと思ひます。
- ・ 申し分ない時期でした。タイでは雨季で、日本より暑くなかつたし、幸運にも外に出ている間一度もスクールにあうこともありませんでした。
- ・ 夏休みのちょうど中盤あたりに行われ、ちょうどいい実施時期だったと思う。また、2週間という期間も実際に過ごしてみると、非常に短く感じたが、そう感じた分、またタイに行きたいという気持ちがあるため、期間的にもちょうどよかったのではないかと思う。
- ・ もっと長く滞在したいと思ったが、チューターさんが過労で倒れてしまうおそれがあるので2週間くらいがちょうど良いのだと思う。
- ・ 日常生活で使える簡単な単語などを学ぶことができ、3週間というのは最適な期間だと思ひました。ただ授業時間が3時間というのは長かつたです。途中から休憩を入れてくれたので、なんとか集中力を持続させることができました。
- ・ 実施時期はタイでは雨期だったが、雨のために予定が変更されることはほとんどなかつた。期間も2週間というのはちょうど良かったと思うが、週末が二回あればバンコクからもう少し離れた観光地にも行くことができたのかなと思う。
- ・ 2週間はあつという間であつ1回土日が欲しかつた。時期はよかったと思う。雨季でも晴れていたし、運良く外出中にスクールにあわなかつた。
- ・ 5日+2週間という短期間は本当にあつという間だったが、このプログラムに関していえば丁度いい期間だと感じた。ただ、実家が遠い参加者もいることを考慮に入れると、集中講義からタイへの出発日までにたつた一日しかない、説明会が出发5日前、というのは旅行の準備期間として非常に厳しいので改善してほしいと感じた。
- ・ 二週間で完全に日常会話を習得することは非常に困難であつたが、語学研修期間は適切であつたと思う。朝食でのオーダーや買い物などで実際のタイ人と簡単な会話をできた。タイ語を学ぶための導入としては最高の研修であつたと感じた。
- ・ 2週間という期間は短かつたように思う。せめてあと1週間は滞在したかつた。まだタイでやり残したことがあるし、もっと時間に余裕のあるスケジュールであればなお良かった。
- ・ 時期も期間もちょうど良かったと思ひます。タイは雨期でしたが、雨が降つて観光ができないということはありませんでした。暑さも厳しくなく、とても過ごしやすかつたです。
- ・ 短かつたような気もするが、タイの学生の負担も考えるとちょうどいいような期間であつたように感じる。ずっと日本の学生についてくれて、絶対に日本人だけになるようにはしなかつたので相当な負担だつたと思う。

語学の面では、やはりもう少しあったほうが身にはついたのでかなと思う。少し聞き取れるようになり、タイの人とタイ語の勉強や会話もあったのももう少し長くていいような気がする。

■集中講義を受講した上で語学研修に参加したこと

評価	5	4	3	2	1
回答数	14	1			

<感想>

- ・ タイは英語がほとんど通じないため、タイ語が必要です。集中講義で学んだタイ語が現地で通じたときは、とてもうれしかったです。ウライポーン先生のタイ語の授業はとても素晴らしいです！！ウライポーン先生のタイ語の授業は楽しく学ぶことができました。
- ・ 国内で事前に簡単なフレーズを勉強していたので、現地に行ってすぐに使うことができた。（タイ語がすぐに出てくるまでには少し時間がかかったが。）私は、集中講義が無くても、事前に現地の言葉や文化、歴史を知ることが重要だと思うので、集中講義があったことはとてもよかったと思う。
- ・ タイの言語と文化についてある程度触れてから実際に現地を訪問したことの意義は大きかったです。集中講義で学んだタイの文化を現地で実際に目の当たりにすると現地で初めてそれを知るとでは全然違うと思います。
- ・ 事前に何となくタイ語の雰囲気や掴め、簡単な自己紹介が出来る様になっていたの、タイでの授業にスムーズに移行出来たと思います。
- ・ 集中講義を受講することによって参加者と交流ができたのでよかったが、その一方で参加しない人の肩身が狭そうでした。集中講義はグリーンカレーを作ったり先生のお菓子を食べたり、タイ語だけではなく文化も味わうことのできる充実したものになったと思います。
- ・ 語学研修前に集中講義を受けることは、よかったと思う。研修に行く前にタイの言語、文化について多少ではあるものの知ることができたし、タイに行くモチベーションにもつながった。また、共に 2 週間過ごすメンバーとの関わりを事前に持てて、それが安心にもつながったと思う。
- ・ タイ語はもちろんのこと、タイの文化などの予備知識をあらかじめ入れることがかなり役立った。
- ・ タイに行く前に事前に集中講義をうけていたおかげで、タイ語で自己紹介をすることができて助かりました。簡単なタイ語を使うことができたので初対面のタイ人とすんなり仲良くなることができました。Mahidol University の生徒はみんな英語が上手で、コミュニケーションをとるためには英語が必要不可欠だということを学びました。
- ・ 集中講義で学んだ自己紹介や簡単な日常会話はとても役に立った。タイについて予備知識もなく現地に行くよりも、少しでも言語や文化を知っていけてよかった。集中講義と語学研修が続けて 3 週間あったことは特に問題はないと思う。

- ・ 研修中に習ったことのほうが多かったが、実際に使ったのは集中講義で習ったほうが多かったのよかったです。簡単な文章や単語だったので覚えやすかったというのも理由としてあげられる。
- ・ 現地での生徒との会話はもっぱら英語であったが、市場での買い物ではタイ語を使うことができてよかった。このプログラムには、集中講義は必須だと感じた。
- ・ 集中講義と語学研修で重複していた学習部分があったと感じた。しかし、何度も学習を繰り返すことができたことで習得率が上がった。もう少し進度を遅くしてロールプレイングのような実際の場面を考えた授業を行ってみたかった。
- ・ 集中講義では、挨拶や食べ物の名前、お店で使える表現など、実用的なタイ語を学んだので非常に役に立った。また、タイの基本的情報や日本とタイの常識の違いなどをタイ人の先生から教えてもらえたことで、出発前に良い意味でしっかりイメージトレーニングができていたと思う。
- ・ タイ語で自己紹介ができるようになってから、現地に行ったのですぐに役立ちました。また授業ではすぐに使える日常会話を中心に教えていただいたので、とても良かったです。
- ・ あいさつや基本の表現はあらかじめ学んでいたもので、そのへんはよかったが、タイで学んだことも日本で学んでから語学研修に行ってもよかったのかなと思う。もう少し、期間を長くするとかしたほうが効率はよかったと思う。しかし、集中講義で事前にタイの文化や料理について学ぶこともしていたので、現地で実際に経験することもありその面ではとてもよかった。

■その他

(日常生活や研修に参加して考えたこと、改善事項や要望事項など)

- ・ 参加者の選考の基準に少し疑問を感じた。年代が違うため、やりたいことや行きたい場所が異なるのは仕方ないことかもしれないが、集団生活であるにもかかわらず、放課後や休日に一人で完全に別行動をしていたのにはさすがにいかがなものかと思った。日本人には必ずタイ人がついていなければならなかったため、その人にずっとついていてタイ人にも迷惑をかけたと思う。そのタイ人が、残りの14人とも仲良くなりたいたって来ていたならなおさらだ。私たちはそのタイ人とも一緒に出掛けたかったし、そうすればもっと仲良くなれていたかと思うととても残念に思う。
- ・ 我々日本人の中にはタイ語、さらには英語もうまく話せない人も多くコミュニケーションの面で苦勞することが多かったです。このためにタイのサポーター達にはいろいろと迷惑をかけてしまいました。私たちがお世話してもらったタイ人はみな英語を流暢に話すことができ、日本人ももっと英語のスピーキング能力を高めなければならないと感じました。

また私たちはタイ語を勉強してはいたものの、タイ文字が全く読めないために店で自分の注文したいものを頼むことすらできずタイ人に助けられました。二週間でタイ語を使えるようになるのは困難です。九大においてこの研修以後もタイ語を学べる環境を作って欲しいと思いました。

- ・ マヒドン側は英語専攻の学生が多かったとはいえ、入学したばかりの1年生であっても英会話の水準が非常に高いのが印象的でした。九大側は海外経験が少ない学生も

いたようで、マヒドンの学生には本当にお世話になっていたと思います。今回の研修は本当に至れり尽くせりで、自分の頭で考えて行動する機会は殆どありませんでしたが、海外に慣れてない学生にとっては海外の学生との交流を通じて、自分自身を見つめ直す良い機会になったのではないかと思います。このような交流プログラムは、政府・民間、様々なレベルで行われており、今回の体験は将来色々な形で役立てられると思いました。

- ・ 王宮のドレスコードに関して正確な情報が必要だと思いました。服を借りる手間とお金を省くためにも、来年からは事細かに伝えて欲しいです。

タイ語でのプレゼンは授業内容だけでは不可能で、9割タイ人に頼って完成させました。タイ人のチューターの負担にもなるし、言語の上達を図るのであれば授業内容で対応できる他の方法が良いと思います。海外に行くのは初めてで色々失敗しましたが、初めてがこのプログラムでよかったと何度も思いました。そのような様々な場面に直面し、自分は何ができて何をしてすべきなのか、自分について見直すことのできる機会でもありました。

- ・ 関わったマヒドン大学の学生はみな英語がうまく、日本語を話せる学生も多くいた。そのため、安心して過ごせた一方、タイ語、英語で、会話するという積極性が少し欠けてしまったのではないと思う。タイと日本では、似たような所もあれば、まったく異なった文化を持つ部分もあり、日本と比べることで、改めて日本についても知ることができたと思う。このような素晴らしいプログラムに参加できたことに本当に感謝したい。
- ・ 現地に行く前に寮についてやスケジュールについての情報があまりなかったので少し不安だったが、実際はチューターさんのサポートがとにかくすごく安心して活動できた。
- ・ Mahidol university の生徒たちは本当に親切で、私たちの世話をいつもつきっきりでみてくれました。このプログラムに参加することで、かけがえのない友達にでることができて本当に感謝しています。英語の重要性を再認識させられたので、もっと英語の speaking 能力をあげようと思いました。

- ・ 服装のチェックが厳しいということ、事前にもっと強調して言ってもらいたかった。知らなかったチェック項目もあり、多くの人がかかなり困惑していたように思えた。今年は誰も大きな怪我をしたり、病気にかかったりすることがなかったので計画通りにプログラムを進めることができて良かった。

- ・ もっと事前に説明がほしかった。宮殿では女性はロングスカートじゃないと絶対だめといわれて、事前説明ではロングパンツでもいいと言われていたので焦った。

タイ語のプレゼンは言いたいことを英語に訳して、さらにタイ語に訳したのを聞き取って原稿をつくったので、どの言葉がどの単語にあたるのかがよくわからなくて、そのことを聞く時間もなかったのかわからないまま終わってしまった。また、英語が必要だということをしみじみ感じた。

- ・ かなりバーツへの両替ができる場所や時間が限定されていたので、タイの学生に換金できる場所まで案内してもらい、お金を貸してもらおうといった手間をかける参加者もあり、申し訳なかった。来年参加する学生には、最初から3万換金してもらおうと丁度いいと思う。

私たちの希望で、土曜日にアユタヤに行くことができたが、これは Field Visit に含めてもいいのではないかと考えた。

- ・ 毎日タイの学生たちがつきっきりでお世話をしてもらったことは非常に頼りになっ

た。しかし、そのことに甘えてしまっていた部分も非常に大きかったと思う。英語の重要性を改めて感じ、自らの英語力を試す意味や国際的に自立した人物となっていくためにも自ら計画を立てて行動する時間を 1 日でもとったほうがより良い経験になったと思う。

- ・ 特にありません。至れり尽くせりの安全な研修でした。ありがとうございました。
- ・ 寺院見学の際の服装の注意をもっと厳密にさせていただきたかったです。また、Field Visit の時間ももう少しゆっくりとって欲しかったです。タイは想像以上に親日だと感じました。町中でもよく日本語を見かけたので、とてもびっくりしました。タイ人の学生が本当に親切で、とても感謝しています。またタイに行きたいと思える研修でした。
- ・ まず、このプログラムを甘く見ていたのは強く反省すべきことだと反省している。まず初めの集中講義では先生の日本語が上手であったし、現地でも初めてあったチューターの人には日本語がしゃべることができる人が多かったので、英語必要ないのかと思っていたが、タイ人の学生との交流や、プレゼン、説明、Field Visit 全て英語だった。今まで受験勉強やただ授業のだけになんとかやっていた英語では、話を聞き取れることもしゃべることもできなくとても苦労した。今までやってきたのはなんだったんだろうととても後悔した。しかし、それとともに英語を聞き取り、話したいという思いに初めて強くかられた。この気持ちを持ち続けて絶対にこのような海外にでて交流があるというものに再挑戦したい。後は、伝わらない、向こうの話もわからないかもしれないという恐れから、自分から話しかけていくことができなかつたのは、改善しなければならない。

それでも、タイ人の学生は、優しく話しかけてくれてとてもいい経験ができた。改善、要望は前もっての準備や説明をもう少し早くしてほしいことと、このプログラムを続けてほしいことである。自分みたいになんとか海外で学んでみたい人には、いい刺激、経験、考える機会になると思う。